

ID	管理日	番号	報告者名	一般名	生物由来	原料名	製造国	含有区分	文獻	症例	修正 使用 情報	参考文献(P)	出典	概要
												デング熱	ProMED-mail20080401.1198	2008年3月26日現在、フィリピンIlocos Norteで2008年に記録されたデング熱感染者数は90名で、うち2名は死亡例である。ニューカレドニアにおけるデング熱症例数は2008年2月の流行発生以降、増加を続け、3月初旬は72症例であったが、3月20日には215例以上に急増し、3月28日には263例以上となった。ブラジル保健当局は2008年1月1日以降、国内におけるデング出血熱406例(死亡34例を含む)を報告した。2007年同時期と比べ著しく増加している。
												マラリア	ProMED-mail20080408.1287	公衆衛生の専門家によると、2008年3月1日から現在までにボツワナBobirwa地域で6名がマラリアで死亡し、それ以外に確定症例201名が治療中である。同地域では通常数例の報告しかなく、異常に高い症例数である。
												ウイルス感染	PLoS Pathogens 2008; 4: e1000047	出血熱症例の小さな流行が、2003年12月と2004年1月にボリビアのCochabamba付近で発生した。1死亡例から検体を入手し、患者血清検体から非細胞障害性ウイルスを単離し、アレナウイルスと同定した。RT-PCR分析、並びにS及びL RNAセグメント配列の解析の結果、このウイルスはサビアウイルスに最も近縁であるが、新規のウイルスであることが示された。我々はこのウイルスをChapareウイルスと命名することを提案する。
												デング熱	ProMED-mail20080421.1411	1ヶ月近くの豪雨のため、ブラジル北東部におけるデング熱届出数は2007年同時期より48%多く、デング熱確定死亡例は23例で、デング熱疑い死亡例は56例である。Sergipe州は最もデング熱が増加した州であり、2008年1-4月のデング熱症例は2007年同時期より1226%増加した。またRio Grande do Norte州では2008年のデング出血熱症例の届出は577例で2007年同時期と比較して約10倍に増加した。
												異型クローン フェルト・ヤコブ病	Pediatr Transplant 2008; 12: 95-98	米国で、小腸のBurkittリンパ腫で化学療法を受けた後、同種臍帯血移植を受けた6歳の男児が移植5ヶ月後に致死性の高進行性脳症を発症した。剖検により脳内の海綿状変化が明らかとなり、多くの臨床経過所見がTSEと一致していた。生前および死後の検査では病因を特定できなかった。化学療法や抗ウイルス療法による後天性ミトコンドリア病である可能性も除外できなかった。同種造血幹細胞移植後の海綿状脳症の初めての報告である。

ID	受理日	番号	報告者名	報告機関	生物由来製品	原料地名	製造国	含有成分	文書形式	添付書類	感染症ID	出典	概要
											リンパ性脈絡髄膜炎	ProMED-mail20080516.1635	米国ボストンで同一ドナーからの腎臓を移植後、70歳の女性が死亡し、57歳男性が重体となっていると保健当局は発表した。ドナーである49歳のホームレスの男性はリンパ性脈絡髄膜炎ウイルス(LCMV)に感染していた。LCMVはアレナウイルス属の基準種であり、げっ歯類により伝播されることが多いが、移植前検査には通常は含まれない。臓器に対する需要が大きいため、レシピエントはホームレスの臓器を入手することがよくある。
											コンゴ・クリミア出血熱	ProMED-mail20080518.1657	2008年5月13日までにロシア南連邦地方においてクリミア・コンゴ出血熱18例(死亡2例を含む)が記録された。同地方全域でダニ駆除薬による家畜の処置が行われたが、Astrakhan地域では不十分である。同地方でのクリミア・コンゴ出血熱症例数は2007年には234例で、うち4例が死亡例であった。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Neuropathology 2008; 28: 51-61	硬膜移植に関連した日本人CJD患者の剖検症例5例について臨床病理学的分析を行った。硬膜を小脳テント下に移植された4例における発症時の症状は小脳または脳幹機能障害であり、小脳テント上に移植された1例では大脳皮質症状を示した。亜急性海綿状脳症が1例、全脳型CJDが4例であった。また、シナプス型PrP沈着を示した。初期症状と移植部位に密接な関係があることから、移植部位から近接する脳部位へのCJD直接感染が示唆された。
											デング熱	ProMED-mail20080525.1716	ホーチミン市保健当局は2008年5月20日に、同市では3000名以上の小児がデング熱に罹患し、昨年の2倍であると報告した。第一小児病院デング熱科の入院患者数は、先週1日20-30名であったが、現在は40-60名に増加した。メコンデルタ地方では2008年になってから今までに10000例以上がデング熱に罹患した。
											コンゴ・クリミア出血熱	ProMED-mail20080528.1732	ロシアStavropol Kraiではクリミア・コンゴ出血熱による2例目の死亡例(39歳女性)が記録された。1例目の男性は2008年5月中旬に死亡している。2008年5月26日現在、12地域で患者17例が記録されている。インターネットの情報によるとSouth Federal Okrugにおいて2008年のこれまでにクリミア・コンゴ出血熱による死亡が4例記録されている。これは2007年1年間の総数に当たる。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原料名	原産国	含有区分	文書	薬剤	添付書類	臨床症候	出典	概要
												デング熱	ProMED-mail20080603.1776	2008年5月28日、ブラジルRio de Janeiroでは、今年になってから162701例のデング熱症例が報告され、その内、死亡例は123例で、更に116例のデング熱疑い死亡例を調査中であると保健局が発表した。また、保健局発表によると、2008年5月21日現在、ブラジルSergipeでは20174例が報告され、8726例が確定された。2008年4月は10万人当たり652.4例の発生率であったが、5月には10万人当たり118.2例に減少した。
												デング熱	ProMED-mail20080618.1901	マニラCaloocan市保健当局は2008年1月1日から5月29日にデング熱症例630例、うち5例は死亡例を記録したと発表した。これは2007年同時期と比較して2倍の増加である。
												デング熱	ProMED-mail20080622.1933	ベトナム南部の複数の省においてデング熱症例約5000例が発生し、Tien Giang, Ca Mau, Bac Lieuなどの省で増加が予想されている。Ca Mau省の予防衛生センターによると、2008年6月18日までのデング熱の発生は2007年同時期と比較して2倍となる1000例以上となった。流行はまだ増加傾向にある。
377	2008/08/27	80377	CSLベーリング	人血清アルブミン 破傷風抗毒素 フィブリノゲン加第XIII因子 乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	ヘパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	中国	製造工程	無	無	無			
378	2008/08/27	80378	CSLベーリング	人C1-インアクチベーター	人C1-インアクチベーター	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	有効成分	有	無	有	ウイルス感染	J Med Virol 2008; 80: 365-371	定期的に輸血を受けるサラセミア患者で、Torque Teno virus (TTV)の有無を調べたところ、2-20歳の患者の約10%(118名中12名)がTTV陰性であった。フェリチン、ASTおよびALT値はTTV陽性群より陰性群の方が低かった。TTV-HCV共感染群ではフェリチンおよびALT値がTTV単独感染群より高かった。輸血による高頻度かつ継続的なTTV感染はサラセミア患者における肝機能障害と関連することが示唆された。
												ウイルス感染	AIDS Res Hum Retroviruses 2007; 23: 1330-1337	Simian Foamy Virus (SFV)感染した男性7名を長期間追跡調査した。男性は非ヒト霊長類と接触する職業であった。男性の全ての末梢血単核球(PBMC)からプロウイルスDNAが検出され、口腔や尿生殖検体から検出されることもあった。長期間(中央値20年)の性的曝露にかかわらず妻たちは陰性であった。特異的な臨床症状は報告されなかった。限定的な追跡調査であるためSFV関連疾患やヒト-ヒト感染を特定できなかった。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原料名	原産国	含有成分	文相	短所	適正使用	臨床症例	出典	概要
												ウエストナイルウイルス	J Med Virol 2008; 80: 557-563	中央ヨーロッパにおけるウエストナイルウイルス(WNV)の潜在的脅威を調べた。ドイツ人献血者14437名由来の検体中0.03%が抗WNV陽性であった。ドイツ人9976名由来の検体をWNV NAT法を用いてWNV-RNAの有無を調べた結果、全て陰性であった。米国由来血漿プールではWNV-RNAがしばしば検出されたが、ヨーロッパやアジア由来のプールからは検出されなかった。また、血漿製剤製造過程のウイルス不活化によりWNVに関する安全性は保証されることが明らかとなった。
												バベシア症	Blood 2007; 110(11, Part 1): 853	米国コネチカット州での輸血によるBabesia microti感染の危険性を評価するため、2004-2007年に収集されたドナーとレシピエントの保存検体を検査した。その結果、45回の赤血球輸血を受けていた患者1例でBabesia microti感染が確認されたが、血清検体陽性のドナーを特定することはできなかった。危険性は1920回の赤血球輸血で0例または1例と計算された。
												鳥インフルエンザ	Proc Natl Acad Sci USA 2008; 105: 7558-7563	ユーラシアおよび北米系統のH7型トリインフルエンザウイルスの受容体結合能およびフェレットモデルにおける感染性を調べた。その結果、2004年にカナダで分離されたH7N3型、2002-2003年に米国北東部で分離されたH7N2型は α 2-6結合シアル酸に対する親和性を高めたHAを保有していた。また2003年にニューヨークの男性から分離された低病原性H7N2型はフェレットの上気道で効率的に増殖し、直接接触で感染できることが確認された。
379	2008/08/28	80379	化学及血清療法研究所	乾燥細胞培養痘そうワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン	ラクトビオン酸エリスロマイシン	ウシ乳	米国、カナダ、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
380	2008/08/28	80380	化学及血清療法研究所	乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	抗破傷風人免疫グロブリン	ヒト血液	米国	有効成分	有	無	有	リンパ性脈絡髄膜炎	N Engl J Med 2008; 358: 991-998	オーストラリアで一人のドナーから臓器移植を受けた3例が移植後4-6週後に死亡した。他のいかなる方法でも原因不明であったが、2例のレシピエントの移植肝および腎から得られたRNAを偏りのない迅速シーケンシングで解析することにより、リンパ性脈絡髄膜炎に関係する新規のアレナウイルスが原因であることが明らかとなった。レシピエントの腎、肝、血液および脳脊髄液からこのウイルスが検出され、また免疫組織学的および血清学的に確認された。この方法は病原体発見の強力な手段である。

ID	受理日	番号	報告者名	製品名	生産由来成分	原料名	製造国	製造区分	文書	薬剤	遺伝子	製品名	出典	概要
												レプトスピラ症	Infect Genet Evol 2008, doi:10.1016	コスタリカにおいて、レプトスピラ症の入院患者から分離されたレプトスピラは、Javanica血清群型に分類される新しい血清型で、Arenalと命名された。同じ地区の重症患者から分離された株も同じ血清型であったことから、この株は、この地域に流行する新規の高病原性の血清型であると考えられた。
381	2008/08/28	80381	化学及血清療法研究所	乾燥人血液凝固第Ⅸ因子複合体 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子 乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ 人免疫グロブリン フィブリノゲン加第ⅩⅢ因子 乾燥濃縮人活性化プロテインC ヒスタミン加人免疫グロブリン製剤 トロンビン 乾燥スルホ化人免疫グロブリン 人血清アルブミン 乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン	ヘパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	中国、フランス、米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
382	2008/08/28	80382	化学及血清療法研究所	乾燥細胞培養痘そうワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン	初代腎臓培養細胞	ウサギ腎臓	日本	製造工程	無	無	無			
383	2008/08/28	80383	化学及血清療法研究所	乾燥細胞培養痘そうワクチン 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン	ラクトアルブミン	ウシ乳	オーストラリア、米国、ニュージーランド、カナダ	製造工程	無	無	無			
384	2008/08/28	80384	化学及血清療法研究所	乾燥細胞培養痘そうワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン	血清	ウシ血液	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
385	2008/08/28	80385	化学及血清療法研究所	①乾燥細胞培養痘そうワクチン ②乾燥弱毒生風しんワクチン ③乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン ④乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン	筋アデニル酸	ウマ肉	米国	①～③製造工程・ 添加物、 ④製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生体由来成分	原料名	原産国	含有成分	文庫	不純物	修正 使用 期限	3年経過後(P.A.)	輸出先	概要
386	2008/08/28	80386	化学及血清療法研究所	①乾燥細胞培養痘そうワクチン ②沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ③沈降破傷風トキソイド ④ジフテリア破傷風混合トキソイド ⑤ジフテリアトキソイド ⑥コレラワクチン ⑦乾燥ジフテリアウマ抗毒素 ⑧乾燥ボツリヌスウマ抗毒素 ⑨沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン ⑩破傷風トキソイド	ペプトン	ブタ胃	日本、米国	①添加物、 ②～⑩製造工程	無	無	無			
387	2008/08/28	80387	化学及血清療法研究所	①乾燥細胞培養痘そうワクチン ②乾燥弱毒生風しんワクチン ③乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン ④乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン	コレステロール	ヒツジ毛	ニュージーランド、オーストラリア	①～③製造工程・ 添加物、 ④製造工程	無	無	無			
388	2008/08/28	80388	バクスター	ルリオクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	ルリオクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	遺伝子組換えチャイニーズハムスター卵巣細胞株	該当なし	有効成分	無	無	無			
389	2008/08/29	80389	味の素	ヘパリンカルシウム	ヘパリンカルシウム	健康なブタの腸粘膜	中国	有効成分	無	無	無			
390	2008/09/01	80390	東菱薬品工業	幼牛血液抽出物	幼牛血液抽出物	幼牛血液抽出物	オーストラリア、ニュージーランド	有効成分	無	無	無			
391	2008/09/01	80391	東菱薬品工業	ヘモコアグラーゼ	ヘモコアグラーゼ	蛇毒	ブラジル	有効成分	無	無	無			
392	2008/09/01	80392	持田製薬	トロンビン	トロンビン	ウシ血液	ニュージーランド、オーストラリア	有効成分	無	無	無			
393	2008/09/01	80393	持田製薬	トロンビン	トロンボプラスチン	ウシ肺	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生体由来成分	原料名	製造国	有効成分	無効成分	無効成分	無効成分	製造工程	無効成分	無効成分	無効成分
394	2008/09/01	80394	持田製薬	日本薬局方 ヘパリンナトリウム注射液	日局 ヘパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	フランス、デンマーク、スウェーデン、イギリス、アイルランド	有効成分	無	無	無				
395	2008/09/03	80395	阪大微生物研究会	破傷風トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド	ウシの肝臓	ウシの肝臓	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無				
396	2008/09/03	80396	阪大微生物研究会	破傷風トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド	ビーフハートインフュージョン	ウシの心臓	インド、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無				
397	2008/09/03	80397	阪大微生物研究会	破傷風トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 成人用沈降ジフテリアトキソイド ジフテリアトキソイド 沈降破傷風トキソイド	ウシ肉エキス	ウシの肉、骨、脂肪	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無				
398	2008/09/03	80398	阪大微生物研究会	破傷風トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 成人用沈降ジフテリアトキソイド コレラワクチン 沈降破傷風トキソイド	スキムミルク	ウシの乳	米国、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無				

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原料科名	原産国	含有区分	文相	短例	適正 使用 期間	感付能(P)	出典	概要
399	2008/09/03	80399	阪大微生物病研究会	百日せきワクチン 破傷風トキソイド 沈降精製百日せきワクチン 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド コレラワクチン	ポリペプトン	ウシの乳	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
400	2008/09/03	80400	阪大微生物病研究会	インフルエンザワクチン インフルエンザHAワクチン 沈降新型インフルエンザワクチン(H5N1)	尿膜腔液	発育鶏卵	日本	製造工程	無	無	無			
401	2008/09/03	80401	阪大微生物病研究会	発疹チフスワクチン	卵黄囊	発育鶏卵	該当なし(製造中止品目)	製造工程	無	無	無			
402	2008/09/04	80402	川崎三鷹製薬	ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン	ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン	ヒト尿	中国	有効成分	無	無	無			
403	2008/09/05	80403	味の素	バルナバリンナトリウム注射液	バルナバリンナトリウム	健康なブタの腸粘膜	中国	有効成分	無	無	無			
404	2008/09/08	80404	中外製薬	ベバシズマブ(遺伝子組換え)	チャイニーズハムスター卵巣細胞	チャイニーズハムスター卵巣	不明	製造工程	無	無	無			
405	2008/09/08	80405	中外製薬	ベバシズマブ(遺伝子組換え)	ペプトン	ブタ胃組織	米国	製造工程	無	無	無			
406	2008/09/09	80406	田辺三菱製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	—	米国、カナダ	有効成分	無	無	無			
407	2008/09/09	80407	田辺三菱製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ蛋白加水分解物	ウシ脾臓、ウシ血液	米国	製造工程	無	無	無			